

## 委員会提出議案第8号

在日米軍関係者により繰り返される事件・事故の根絶を求める意見書

本年4月下旬に行方不明となっていた沖縄県うるま市在住の女性が、翌5月に遺体で発見され、在日米軍軍属の男性が沖縄県警に逮捕されるという事件が発生しました。

この極めて残虐で凶悪な事件の発生は、我が国全体に大きな衝撃を与え、沖縄県民を始め、国民に強い不安や憤りを抱かせました。

これまでも、在日米軍関係者による事件・事故が明らかになるたびに、日本政府の強い抗議を受け、その都度米軍は綱紀の粛正を約し、再発防止に努める姿勢を強調してきたにもかかわらず、悪質なものから今回のような凄惨なものまで、再三にわたり事件・事故が繰り返されてきました。

日本及び極東の平和と安全の維持に寄与することを目的として日本に駐留する米軍の関係者が、これ以上、犯罪行為を繰り返すことは、決して黙過できることではありません。

よって、国においては、米国に対して、在日米軍関係者への徹底した綱紀粛正や法令順守教育の強化を求めるほか、日米地位協定の見直し等も含めた様々な措置について検討を行うとともに、在日米軍関係者による事件・事故の根絶の実現に最大限の努力をすることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年10月21日提出

さいたま市議会総合政策委員会

委員長 高 子 景